



# たのはた

広報

人と自然が織りなす心豊かな協働の村

復興への思いを胸に心をこめて感謝します

平成27年12月10日、今シーズン3回目のアワビの口開けが行われました。午後から平井賀の漁協加工場では、アワビの殻外し作業が行われ、浜は活気に包まれました（関連記事 19 ページ）

主な内容

- 申年生まれ今年の抱負 ..... 4 頁
- 中学生海外派遣研修 ..... 6 頁
- ココロのうた音楽祭 ..... 10 頁
- 村職員・任期付職員募集 ..... 12 頁

# 迎春

平成二十八年初春をお慶び申し上げます。

夏目漱石の新年を詠んだ作品に「煩惱は百八減って今朝の春」「山里は割木でわるや鏡餅」というものがあります。新しい年を迎える気概と農村文化の深さを表現していることに感銘を受けますが、同時に、割木でわるや鏡餅という表現は、人口減少に臆することなく、地方創生を思い切り取り組めと表現している言葉ではないかと感じています。田野畑村の地域づくりが村民が希求する地域像を目指し、現状を打破する割木の気概を持ち、鏡餅の向うに新しき田野畑村の希望を見出す新年の幕開けの時、各家庭において鏡餅に「元日や吾新たなる願あり」の思いが叶うことを願っているところであります。さて、復興事業につきましては、当初、5年で執行する計画でありました

が、これまでの状況等を判断し、数年間延ばさなければなりません。一方で、事業内容を組み替え、より住民目線で利用しやすい整備のあり方を工夫してきたところではあります。例えば、避難道路が行き止まり道路となっている計画を中央部に避難できるよう連絡機能性を強化するよう見直したことで、切牛簡易水道の水不足を解消するため、追加的な事業を申請・採択頂き再整備していること、田野畑簡易水道においても、計画配水池の貯水量（配水量）の計画と実状がアンバランスになっていることを解消するべく計画の見直しを行ったことなど、散見される課題を、随時、国と協議を進め、再整備を行いながら現在に至っていることを御報告したいと思っております。この流れでも、村民の暮らしを考えるうえでも、水は欠かせない大切なものであります。自然を消費させないことが重要な事柄であるべきとの視点に立って復興においても、この理念を大事にしていく必要があると感じています。

このように公共事業は、地域資本の再生プログラムであると認識していることから、事業のあり方や構成は利用いただく方々の意見を集約することを基本とした手段であると考えています。

その目的は常に「住んでいる人を大事にすること。その人たちのための再生事業である」ということを肝に銘じていくものであります。「目的」と「手

段」をはき違え、また、逆転した行政執行であっては地域づくりは意味を成さないこととなります。改めて、復興は手段にすぎず、次なる時代・新生たのはたづくりとは、村民が希求する地域像・村是の達成に向けて、目的を共有しながら、肅々と歩を進めていく覚悟であります。

現下、田野畑村総合計画や人口ビジョン・田野畑村総合戦略計画等を策定中ではありますが、地域ごとの計画の実行性や達成度は地域で管理できるようなシステムであることが今後の地域づくりでは大切になると思います。この点も地域コミュニティのあり方を模索し再構築を図るため、村民の皆さんと意見交換をし、実効性のある形にしたいと考えています。総合計画の目標は、時代の変化や今後の方向性を重視し、新たな目標を設定し、村民と共に歩むことの重要性・時代性を大事に取り組んでいく所存です。『地域や経済は歴史認識を持たなければならぬ』このことを大事にして参ります。

今後の村是は、『地域づくりは人づくり・教育立村ステージⅡ』として①地域を支える若人が集う村づくり②老いも若きも笑顔で暮らせる村づくり③食が豊かで健康な村づくり④産業に勤しむ村づくりの実現を目指します。そのためにも第一次産業を基幹に据えて、皆が主役で役割があり、やさしい笑顔に出会える村づくりを進めて参ります。



石原 弘村長

竹下美恵子さん（菅窪・71歳）  
 ハックの家は若い人たちに任せて、自分は地域のお年寄りが集まって漬け物づくりなどの知識継承を楽しみながらやっていきたいです。笑顔絶やさず、健康第一！



竹下英喜さん（菅窪・35歳）  
 ハックの家を利用している障がい者の皆さんが、日常を安心して暮らせていけるよう頑張ってサポートしていきたいです。



成田明子さん（菅窪・35歳）  
 夫の田野畑駐在所勤務を縁に村に住んで3年目になります。2月に出産予定なので、元気な赤ちゃんを産んで2人の子育てと、家事を頑張りたいです！



佐々木大翔さん（大芦・11歳）  
 今年は中学生になるので、テストで良い点が取れるよう勉強を頑張りたいです。また家の手伝いも積極的にやっていきたいです。

長尾蒼翔さん（鳥越・11歳）  
 小学校で頑張ってきたバスケットボール。中学校でも部活に入って一生懸命努力したいです。先輩を見習い、宮古地区での優勝を目指します。

畠山陸郎さん（菅窪・83歳）  
 工事現場や野菜栽培のハウスなどを見て回るのを生きがいに、健康第一で穏やかに生活したいです。車の運転では、無事故無違反で安全運転を心掛けます。



畠山陸也さん（菅窪・59歳）  
 震災復興工事が大詰めを迎えるので、社員一同、事故がないよう仕事を頑張りたいです。また、将来に備え、ハウレンソウ、シイタケ栽培部門に力を入れ、雇用の安定確保を図りたいです。

中村ヒテさん（池名・95歳）  
 自宅周りの畑で毎年少しずつ野菜を栽培するのが楽しみです。今年も種をまこうと思います。また、くるもん号で病院へ行き、帰りに買い物するのも楽しみにしています。皆さんに迷惑かけないように過ごせればと思っています。



平成28年は申年。村内の申年生まれは289人(12月18日現在)。年男年女の皆さんに今年の抱負を伺いました。

村内の申年生まれ

生年	年齢	人数
平成16年	12歳	32人
平成4年	24歳	20人
昭和55年	36歳	35人
昭和43年	48歳	25人
昭和31年	60歳	58人
昭和19年	72歳	66人
昭和7年	84歳	46人
大正9年	96歳	7人



# 中学生海外派遣研修

10月26日～11月6日までの12日間、3名の中学生が米国に研修派遣されました。かねてより親交のある米国インディアナ州アーラム大学およびその周辺の高校などと交流を図り、米国の学校・社会生活を体験。ネイティブな英語に触れるなかで、中学生の国際性および積極性、英語力、他文化を理解する力を養うことを目的としています。

平成19年度以来8年ぶりに実施された今回の派遣研修事業。参加した3人の中学生の感想を紹介します。



コナースビル高校の日本語クラスの生徒のインタビューに答える平坂さん(左)と小松山さん



ハロウィンで地域のトリックオアトリートに参加する平坂さん(右端)



アメリカ人の生徒を前に田野畑村について紹介する3人



生徒の日本語の日記を見てあげる小松山さん

田野畑中学校3年 小松山 怜華さん

今回の海外研修で、ホームステイや学校に通ったりというたくさん経験から多くのことを感じました。

まず、日本についてもっと知りたいと思いました。研修中に日本の文化について聞かれる機会が多くありました。見たたり、聞いたたりしてよく知っていることのはずなのに答えられないことが多く、日本人として恥ずかしくなりました。そんな私たちに、現地の高校で日本語を教えている川上先生が「自分で体験したことは上手く人に伝えられるんだよ」と言ってくれたことが心に残っています。これからは、いろいろなことにチャレンジして日本についてもっと学んで

行きたいと思います。

そして、やはり英語を上手く使えるようになりたいと思いました。研修が進むにつれ、何を言っているのか理解できるようになり、言いたいことも言えるようになり、言うのをためらうことがあり、悔しかったです。これから、一つの教科として英語を頑張るのもそうですが、この研修で出会った人たちにもっと自分が伝えたいことを伝えられるように、英語を一つのツールとして磨いていきたいと思っています。

このような貴重な機会をいただきありがとうございます。これからも学んだことを生かし頑張ります。

田野畑中学校3年 道下 朱里さん

今回の研修でアメリカのリアルな生活や文化に触れて、たくさん感じることが出来ました。特に思いに残っていることはハロウィンの行事です。

ハロウィンでは、本場のハロウィンを体験してきました。仮装はみんな本気で、メイクや服がすてきでした。ハロウィンピクニックでは食事やゲームをしました。カッ

ケーキのクリームは緑や赤で驚きました。紅茶を使ったケーキや甘いものなどとてもおいしかったです。またジャック・オ・ランタンというカボチャの中身をくりぬいてナイフで顔を作るランタンづくりはとても楽しかったです。



ホストチューデントと昼食をとる道下さん

で積極的だということ強く感じました。いつも笑顔で積極的に私に話しかけてくれました。私ももっと積極的になっていくべきだと感じ、ジェスチャーや表情で言葉が分からなくても伝えていこうと思えました。アメリカの良さを知り、日本の良さを改めて感じると同時に、日本のことをもっと知らなければいけないと感じた二週間でした。更に大きく成長することができました。学んだことや経験したことを忘れず、自分の考えや将来の生き方につなげていきたいです。



ハロウィンで衣装しての記念撮影

田野畑中学校3年 平坂 瞳子さん

日本とアメリカの学校は異なることばかりでした。インディアナ州の義務教育は小学校1～6年、中学校7～8年、高校9～12年生の12年間、年齢では18歳まででし

た。18歳まで義務教育なら親も安心だと思いました。インディアナ州では16歳から車の免許を取れるので学校に来る生徒もいました。訪問したコナースビル高校はとても広い校舎で、中庭があり廊下も広かったです。しかし校庭は見あたりませんでした。一番の驚きは固定したクラスや自分たちの教室がないことです。先生が教室を持ち、生徒が移動します。高校は自分が習いたい教科を選ぶ制度で強制されない自由な制度だと思いました。業間が5分のため、プザーが鳴ったら次の授業に移動しますが、その間の廊下の生徒の多さに驚きました。

またタブレット端末を使う授業が多く、日本ではあまり行われていないので良いなと思いました。

アメリカの学校はやはり自由でした。授業中に飴などを食べていたり、制服はないので服装も自由でした。しかし、自由は多いけれど、規則が厳しく、破った場合日本では叱られるだけで終わることが多いですが、ここでは放課後の居残りや最悪の場合は停学もあるそうです。

男女の仲が良いことにも驚きました。日本なら男女別々に行動することが多いですが、アメリカは男女が一緒に行動します。また知



コナースビル高校の校長と挨拶を交わす平坂さん

研修を通して、日本の学校の当たり前とアメリカの学校の当たり前の違いが分かりました。また、それぞれの良さも実感できました。初めての海外で、不安と緊張がありました。ホストチューデント、ホストファミリー、日本語クラスの生徒のみんながとても優しく、毎日充実した生活が送れました。

はじめは全然会話が通じなくて「どうしよう」と不安でしたが、単語だけでも話そうという気持ちで頑張りました。

今回経験したアメリカと日本の学校の違いや思い出を残り少ない中学校生活と自分の将来に役立てていきます。

# 平成27年度 歯の健康優良児表彰

## 3歳児 歯科健診 虫歯ゼロの子どもたち

### 虫歯の無い児童23人を表彰

村は12月11日、本年度の「歯の健康優良児表彰」を行い、近藤貴樹歯科診療所長がたのはた児童館などを訪問し、表彰状と記念メダルを贈りました。

この表彰は、平成26年度3歳児歯科健診で虫歯の無かった児童を表彰するもので、児童と保護者が歯磨きを継続して虫歯ゼロを達成した努力をたたえ、乳幼児期の虫歯予防の啓発を図るために行っています。

今回表彰を受けたのは、村内に住所のある平成23年4月2日～24年4月1日生まれの32人のうち、虫歯の無い23人。

子どもたちは受賞を喜びながら「歯磨きをしっかりとやって、虫歯にならないようがんばります」と継続して歯磨きすることを誓いました。

※写真は希望者のみ掲載しています



## まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会が講演会開催 「ねたみ・ひがみ・そねみ」のない地域の実現を

村と村まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会では、12月12日、アズビイ学習センターで「人口減少なんてぶつとばせ！今がチャンスだ！」と題して志村尚一さんによる講演会を開催しました。



ユーモアを交えた2時間の講演を熱心に聞く聴講者

国が定める「まち・ひと・しごと創生法」では、①まち：国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成②ひと：地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保③しごと：地域における魅力ある多様な就業機会の創出の3つの一体的な推進を目指しています。これから迎える少子高齢化・人口減少の進展に的確に対応し、そ

それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持しようというもの。志村尚一さんの講演では、時代が変わっても、どのような環境・人に囲まれて育つかが人間形成には重要であり、一人一人が尊厳を持つて生きられる社会の実現が住みよい地域の実現につながる。具体的には、その人が生活する地域でその人が活かされ、必要とされること、住みよい地域の実現になると訴えました。

また、高齢者が元気に働き、生きがいを持って生活できる村の実現が、若い世代の将来への不安を解消し、村に住みたいと思えるようになること。一方、田舎特有の「ねたみ・ひがみ・そねみ」や特異な人間関係のしがらみは、その地域に人が住みたくなくなる原因になるので、住民は危機感を持ち、違う世代や価値観を持つ人々を認め、尊敬しあうことが大切とアドバイスしました。

## 地方創生で連携協定

### 「地方創生に係る連携協定に関する覚書」締結調印 (株)北日本銀行×田野畑村

「ご創生」の総合戦略に係る事業を推進します。

12月9日、村は、地方創生における地域の発展に資することを目的に、(株)北日本銀行と「地方創生に係る連携協定に関する覚書」を締結しました。

ホテル羅賀荘で行われた締結式には、村長と(株)北日本銀行の佐藤安紀頭取のほか、村商工会長などが出席。覚書に村長と頭取が署名押印し、固い握手を交わしました。

佐藤頭取は「人の絆を忘れず、住民の皆さんの努力を生かせるよう、金融機関の知識や経験を提供して、地域を発展させる機会としていきたい」と意気込みを示しました。

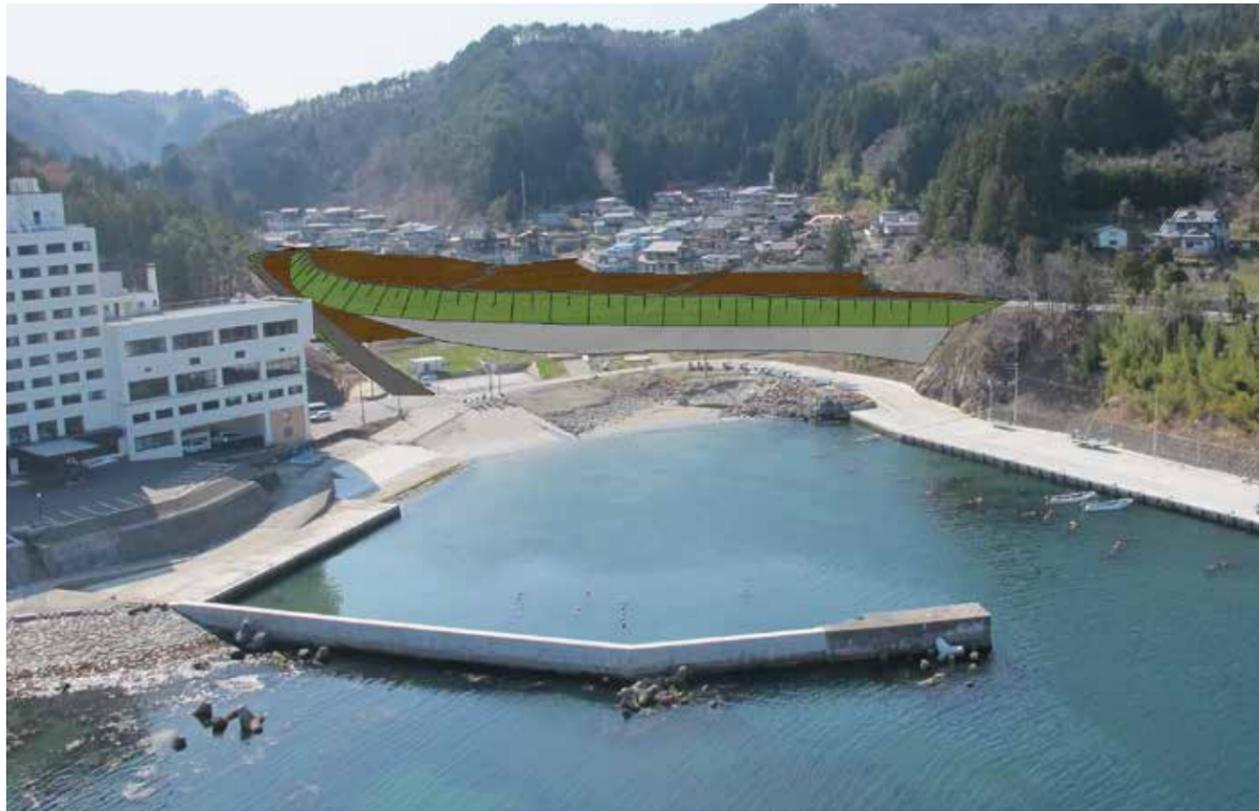
今回の締結により、①地域における起業化、企業の経営強化など地域産業活性化への支援②成長分野における取組支援③専門家など外部機関を活用した支援④その他連携協力に関する必要事項について村と(株)北日本銀行が連携協力。国が進める「まち・ひと・し



覚書を取り交わす佐藤安紀頭取(左)と石原村長



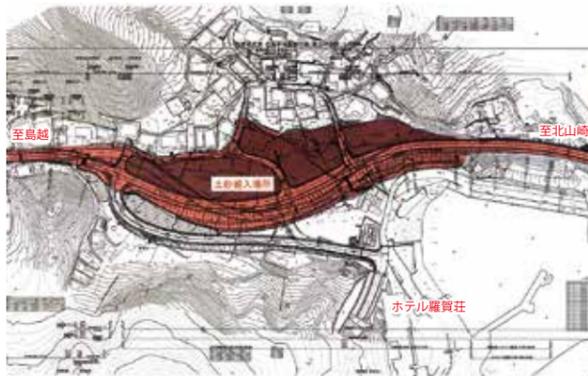
地方創生に向けた協力に関する覚書



自然の傾斜に家屋が点在する羅賀集落の景観が一変。東日本大震災で発生した規模の津波の再来に備えます



12月17日、東北地方整備局三陸国道事務所による三陸沿岸道路・尾肝要普代道路の土砂提供説明会。写真左上の赤い印まで土地がかさ上げされます



盛土することで、(道路のカーブを緩くするなど) 道路環境の改善を図ります

## 平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業 土地利用高度化再編整備羅賀地区工事 ホテル羅賀荘西側県道付近21・4メートルまでかさ上げ

東日本大震災で被災した羅賀地区で、被災した道路と背後の土地をかさ上げし、津波の再来に備える平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業の土地利用高度化再編整備羅賀地区工事が始まっています。

この工事は、総事業費約7億5千万円。総延長540m、造成面積約6270㎡。盛土後の標高は21・4mで、盛土量は約6万5千㎡になります。この土量はダンプトラック約1万3千台

分に相当します。工事は3つの工区に分けられ、平成29年度の完成を目指します。整備後の土地は主に水産共同倉庫などの水産施設を配置し、地域の産業の再生振興を目指します。

盛土材には、三陸沿岸道路・尾肝要普代道路工事で発生する土砂を東北整備局三陸国道事務所から提供していただきます。

長期間の工事となりますので住民の皆さんのご理解ご協力をお願いします。



音楽祭を盛り上げた3村の合唱団の皆さん



プロのデザイナーが担当したCDジャケット



CD化に尽力した出淵晴彦さん(右端)、工藤房子さん(右から2番目)、松本佳奈さん(左端)

## たのはたココロのうた ふるさと想う音楽祭

**旧島越小愛唱歌などCD化**  
11月22日、アズビエイホールで「たのはたココロのうた ふるさと想う音楽祭」が開催されました。

今回の音楽祭は、NPO法人東北岩手応援チャンネルふるさとを歌う有志の会が、戦後まもなく、旧島越小学校に校歌がない時期に、島越地区で歌われていた愛唱歌2曲(故佐々木サキ先生・作詞作曲)と旧岩泉高校田野畑校で歌われていた「追悼の村(浜茄子の歌)」「故伊藤麟市先生・作詞作曲)を一般社団法人私的録音補償金管理協会の助成によりCD化したことを記念して開催されました。

### 曲を思い出し歌声から記譜

CD化は、震災後、島越のお母さんたちがウニの殻むきイベントの打合せをしているときに、震災前に地元で歌った『しまのこしのうた』は譜面などすべて津波で流失してしまったが、後世に残す方法はないかという話題になり、NPO法人東北岩手応援チャンネル代表の出淵晴彦さんに相談し、実現したものの。曲の記譜は工藤房子さん(74歳||島越||)が記憶を頼りに歌い、復元。歌は千葉県在住のシンガーソングライター松本佳奈さんが担当しました。工藤房子さんは「震災後、いろいろ

るなことを思い出し、考え、皆さんに励ましてもらいながら過ごしてきました。早稲田大の学生に、震災前の島越のことを聞かせてほしいと頼まれて、子ども時代や盆踊りの話などしているうちに、たくさん良い思い出がよみがえりました。そんな中、仮設団地の集会所での仲間との会話で『しまのこしのうた』があったね、残したいねということになり話が盛り上がりました。その後すぐにハツクの家から連絡があり、ハツクの家で出淵さんを紹介していただき、曲を思い出しながら歌い、譜面に起こしてもらいCDになりました。こんな日がくるとは思っていませんでしたので大変嬉しいですよ。」と感慨深げに話されました。

### 島越合唱隊など歌声を披露

音楽祭当日は、CD化の経緯を紹介したあと、田野畑村、普代村、野田村の合唱団がひとつになった「コーラス・ライオット風」とCDに歌声を提供した島越合唱隊と一緒に「追悼の村(浜茄子の歌)」を熱唱。また歌手の松本佳奈さんのミニライブも行われ、訪れた人はふるさとに思いをはせました。

CD「たのはたココロのうた」は役場政策推進課で1枚千円(数量限定)で購入可能です。

# 村職員・任期付職員の採用試験を実施

平成28年度採用予定の田野畑村職員および任期付職員の採用試験を実施します。受験を希望する人は忘れずに申し込んでください。

## 村職員

## 任期付職員

◆職種：一般事務職・2人  
土木技師・2人

◆職種：一般事務職・1人  
土木技師・1人

### ◆受験資格

●一般事務：昭和56年4月2日以降に生まれた人

●一般事務：昭和50年4月2日以降に生まれた人

### ◆受験資格

●土木技師：昭和46年4月2日以降に生まれた人で、高校以上の土木系学部・学科を卒業した人（平成28年3月31日までに卒業見込みの人を含む）、または昭和46年4月2日以降に生まれた人で、土木系業務の実務経験5年以上で、土木施工管理技師、監理技術者、技術士いずれかの資格を有する人

●土木技師：昭和46年4月2日以降に生まれた人で、高校以上の土木系学部・学科を卒業した人（平成28年3月31日までに卒業見込みの人を含む）、または昭和46年4月2日以降に生まれた人で、土木系業務の実務経験5年以上で、土木施工管理技師、監理技術者、技術士いずれかの資格を有する人

●保健師：昭和45年4月2日以降に生まれた人で保健師の資格を現に有する人または平成28年3月31日までに取得見込みの人

◆受付期間：1月4日(月)から1月15日(木)までの午前8時30分から午後5時まで（ただし土日を除きます）

◆受験手続き：申し込み用紙を提出してください。用紙は1月4日(月)から役場総務課で配布しています。また村ホームページからもダウンロードできます。用紙を郵送で請求する場合は、あて先を明記した返信用封筒（A4サイズ、120円切手を貼付）を同封の上、封筒の表面に「試験案内請求」と朱書きして送ってください。郵便請求は1月8日(金)到着分まで受け付けます

◆その他：最終合格者は、村職員採用候補者名簿に記載されます。採用候補者名簿に記載される人は、年間採用見込数よりも多く搭載されます。従って、採用が遅れたり、採用されない場合があります

◆申し込み・問い合わせ先：村役場総務課（〒028-8407 下閉伊郡田野畑村田野畑143-1 ☎0194-3412111 内線11）

◆1次試験：1月30日(土) 午前9時30分受け付け・10時試験開始  
田野畑村役場。教養試験などを実施

◆2次試験：2月下旬、村役場個人面接試験などを実施



役場窓口の様子

役場2階の様子

## 放射性物質濃度検査 全箇所で見安以下

村は、児童館や小中学校、各公共施設、観光地の放射性物質濃度の検査を毎月行っています。12月に行った検査では、全箇所で見安以下を示す目安（1時間当たり1マイクロシーベルト）以下となりました。これまで行ってきた検査で、放射性物質が目安を超えたことはありません。

### ◆検査結果（測定日・12月7日）

測定場所	平均測定値 (312点/時)
田野畑小学校	0.067
田野畑中学校	0.071
たのはた児童館	0.061
若桐保育園	0.068
役場	0.083
アズビー楽習センター	0.078
村宮野球場	0.032
思惟大橋公園	0.061
北山崎園地	0.053
弁天島園地	0.089
鵜の巣断崖園地	0.064

◆調査結果…文部科学省による校庭、園庭の空間線量率目安（1時間当たり1マイクロシーベルト）を下回りました

◆問い合わせ先…生活環境課（☎34-2114 内線22）

## 学校・家庭・地域の連携協力を評価

# 村学校支援地域本部が 文部科学大臣表彰を受賞

昭和40年代から掲げる「教育立村」の構想。「村づくりは人づくり、人づくりは教育から」のテーマのもと、地域ぐるみの子育てを具現化した村学校支援地域本部の地域教育コーディネーターの制度が高い評価を受けました。



巖岩教育長(前列中央)と地域教育コーディネーターの皆さん

平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰が12月3日、文部科学省東館3階講堂（東京都千代田区）で行われ、村学校支援地域本部が馳浩文部科学大臣から表彰されました。

村学校支援地域本部は、村内の旧6学区単位にそれぞれ地域教育コーディネーターを配置。学校との連絡調整、体験学習などの学習支援、郷土芸能などの伝承活動支援、学校ボランティアと連絡調整する環境整備支援など地域と学校、児童・生徒をつなぐ活動を行っています。

小学校の統合により、旧6学区で行われていた地域独自の活動は存続が危ぶまれていましたが、それぞれの地域を把握している地域教育コーディネーターを配置したことにより、地域の人脈と特性を生かしながら、地域住民が存続を希望する伝統芸能などの活動を継続することができる環境を整えたことが評価されたものです。

巖岩教育長は「地域教育コーディネーターを核として、村づくりは人づくり、人づくりは教育からという理念の元、今後も教育環境の充実に取り組みでいきたい」と受賞を喜びました。

## 人権擁護委員に佐々木さんが再任

村の人権擁護委員に佐々木秀純さん(71)菅窪Ⅱが再任されました。任期は1月1日から平成30年12月31日までの3年間です。

相談は無料で、秘密は堅く守られます。

◆村の人権擁護委員  
佐々木秀純さん(菅窪)  
畠山とし子さん(菅窪)  
堀川孝男さん(羅賀)



佐々木秀純さん



小雨の中、島越地区の漁業者と交流する高木毅復興大臣(左)

## 高木復興大臣が高台移転地視察

復興庁の高木 毅 復興大臣と長島忠美復興副大臣が、11月23日、島越駅周辺や島越地区の被災者が生活する黎明台団地を訪れ、駅周辺の復旧整備事業の進捗状況や高台移転地の様子を視察し、漁業や地域活動などの復興状況について、住民と意見交換しました。

高木大臣は「生活再建には防潮堤などの復旧だけでなく、なりわいの再生が必要。水産業・水産加工業の復興支援に引き続き取り組みます」と力強く述べました。

## 男の料理教室で料理の楽しさ学ぶ

男性が自らの健康に気を配り、元気に暮らせるようにと、11月30日、村保健センターで男性だけの料理教室が開催されました。村食生活改善推進員さんの指導で12人の男性が中華丼、餃子、ひじきの煮物の調理に挑戦。使い慣れない包丁で野菜を切る作業などを楽しみました。

参加した村の応援職員の藤田優治さんは「一人暮らしなので食生活が少し心配でしたが、自炊する大切さを実感したので料理に励みます」と笑顔を見せました。



手際よく野菜などを切り分ける参加者の皆さん



羅賀婦人会(上)や田野畑児童館(右)の演技に大きな拍手が送られました

## 踊りや歌の熱演に大きな拍手

第46回村歳末たすけあい演芸会が12月6日、アズビィーホールで開催され、約420人の観客が、出演者の熱演に大きな拍手を送りました。演芸会は、舞踊や劇、詩吟など26演目が演じられ、笑い拍手の絶えない楽しい時間となりました。



## LEDライトを小中学生に配布

下北交通安全協会田野畑支会と田野畑ライオンズクラブでは、12月11日、15日の両日、小学生および中学生にLEDライトと夜光反射材を配布しました。

15日に行われた中学生への配布では、DVDを用いて夜光反射材の有効性を確認。白などの明るい服装でも、ドライバーからの確認が難しいことなど、夜光反射材の必要性を学びました。参加した田河原篤史さん(2年)は「頂いたライトを活用し安全に生活します」と感謝を述べました。



ボタンを押すと青色の光が点滅するLEDライトが配られました



人口減少対策について、各委員から活発な発言がありました

## 人口減少対策など村政に提言

12月8日、役場会議室で27年度第1回目の政策提言諮問会議が開催されました。

昨年度の会議で提言された村における人口減少対策について村が取り組み状況を説明し、出席委員で意見交換を行いました。

委員からは、移住希望者向けの住宅・空き家対策の推進が求められました。また三陸沿岸道路の整備を視野に入れた広域圏での施策展開や観光客をターゲットとしたビジネスモデル構築についてなど多くの意見が出されました。

## 冬の交通事故防止を呼び掛け

冬の交通事故防止県民運動に合わせて、村老人クラブ連合会や田野畑駐在所連絡協議会では、12月1日、道の駅たのはた駐車場でキャンペーンを開催しました。

キャンペーンには児童から高齢者まで38人が参加し、ドライバーへ冬用タイヤの装着や飲酒運転の根絶、反射材の活用を呼び掛けました。

参加した早野天眞くん(5つ)は、ドライバーに「交通安全をお願いします」と笑顔で啓発チラシやグッズを配布しました。



多くの関係者が参加して、運転手一人一人に交通安全を呼び掛けました

# お知らせ

人口と世帯		火災	
12月1日現在( )は前月比		(11月21日～12月20日)	
人口	3,628人(-5)	火災の【今月】	1件
男	1,807人(-2)	発件数【今年】	3件
女	1,821人(-3)	無火災の連続記録	
世帯	1,443世帯(-2)	(12月20日現在)	8日

## 知 消防団出初め式を開催

村消防団出初め式を開催します。出初式は消防の仕事始めの行事であり、新年恒例行事の一つです。

田野畑中学校では、観閲や各種点検、菅窪地区の国道45号では分列行進を行いますので、地域防災の要である村消防団へのご声援をお願いします。

- ◆日時…1月10日(日)午前9時45分～11時20分
- ◆場所…田野畑中学校
- ◆分列行進…田野畑駐在所前国道45号(午前10時35分～)
- ◆問い合わせ先…宮古消防署田野畑分署(☎34-2100)



昨年の分列行進の様子

## 知 家屋解体の届出を忘れずに

平成27年中(平成27年1月2日～平成28年1月1日)に家屋を解体した人は、固定資産課税台帳から抹消するために届出が必要です。届出がなかった場合は、引き続き固定資産税が賦課されることとなります。忘れずに届出してください。

- ◆届出期限…1月29日(金)
- ◆その他…届出用紙は、各地区の行政区長さん宅にあります
- ◆問合わせ先…税務会計課(☎34-2111 内線34)

## 募 村営住宅の入居者募集

村は、村営住宅の入居者を募集します。

- ◆募集住宅・規模…田野畑団地2-7号(和野532-20)木造平屋建71.6㎡(居室、台所、洋室1室、和室1室、洗面所、水洗トイレ、浴室)
- ◆使用料…月額17,000円から(所得による)
- ◆敷金…月額使用料の3カ月分※許可日から10日以内に納付
- ◆入居可能日…2月を予定
- ◆申込期限…1月22日(金)
- ◆入居資格…同居親族(婚約者含む)がいること、市町村税の滞納がないこと、暴力団員でないこと、現在、住宅に困っていること
- ◆収入基準…毎月の所得合計額から、配偶者、扶養者等に関する控除分を除いた額が20万円以下であること
- ◆その他…入居希望者が2世帯以上の場合、住宅困窮度の高い人を入居者にします
- ◆申し込み・問い合わせ先…建設第二課(☎34-2113 内線416)

## 知 償却資産の申告について

償却資産(確定申告時に減価償却費として経費控除申告をする予定の資産)がある人は、村の台帳に登録が必要ですので、忘れずに申告手続きをしてください。ただし、すでに登録済みの人は必要ありません。

- ◆申告期限…1月29日(金)
- ◆その他…申告用紙は、税務会計課にあります
- ◆問合わせ先…税務会計課(☎34-2111 内線34)

## 知 人間ドックなど受診者に助成

人間ドック・専門ドック(脳・肺・心臓・乳・子宮)受診者に助成金を交付しています。

- ◆対象…40歳～74歳(平成28年3月31日までに対象年齢になる人)※毎年助成が可能※J A、病院などの医療機関でも助成可能
- ◆助成額…世帯の課税状況応じ1万円又は2万円
- ◆申請方法…受診機関の領収書もしくは受診証明書と印鑑を保健福祉課に持参し申請してください
- ◆助成期間…平成28年3月31日受診分まで
- ◆申請・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

## 知 蜜蜂飼育には届出が必要

平成25年1月1日より改正養蜂振興法が施行され、趣味で蜜蜂を飼養する人にも、蜜蜂飼育届の提出が義務付けられました。蜜蜂を飼養する(計画含む)人は、毎年1月1日現在の飼養群数と年間の飼養計画を1月31日までに広域振興局に提出してください。

ただし、花粉交配用にのみ飼養する人や、学術研究等のため密閉された空間で飼養する人は届出の対象外となります。

蜜蜂を飼育する人は、衛生的な飼養管理を行うなど、適切な管理をお願いします。

- ◆届出の様式など詳細は沿岸広域振興局までお問合せ下さい。
- ◆問い合わせ先…沿岸広域振興局農林部(☎0193-25-2704)

## 村教育のつどいを開催します

- ◆日時…1月24日(日)午前8時45分～正午
- ◆場所…アズビィホール
- ◆講演…子どもを犯罪の被害者にも加害者にもしない子育て講師：幸島美智子さん
- ◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

## 募 およこの食育教室を開催

肥満や生活習慣病を予防するためには、バランスを考えて食べる習慣を子どもの時から身に付けることが大切です。村食生活改善推進員さんと一緒に料理を作って、食育について考え、親子で体験してみましょう。

- ◆日時…1月15日(金)午前10時～午後1時
- ◆場所…保健センター
- ◆対象…年長児・小学生の親子
- ◆申込期限…1月7日(木)
- ◆参加費…無料
- ◆持参する物…エプロン・三角巾
- ◆申し込み・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

## 知 海での事故などは118番

1月18日は118番の日。「118」番は海上保安庁への緊急通報電話番号です。

海上保安庁では、海上における事件事故などの緊急通報用の電話番号として警察の「110番」や消防の「119番」のように覚えやすい局番なしの3桁電話番号「118番」を運用しています。

次のような場合に「118番」通報してください

- ①海難人身事故に遭遇した、または目撃した
- ②密漁、不法投棄、密航、密輸事犯などの情報を得た
- ③見慣れない船、不審な船を発見した
- ④油の排出などを発見した

## 募 自分史を募集しています

村教育委員会は「千秋万歳～私たちの自分史第13集～」の発行に向け、皆さんの自分史原稿を募集しています。応募締切が間近ですので、奮ってご寄稿ください。

- ◆応募締切日…1月20日(水)
- ◆応募先…教育委員会
- ◆発行予定日…3月末。ただし、寄稿作品が少ない場合、来年度合併号として発行します
- ◆その他…応募いただいた原稿・資料等は、文集完成後に返却します
- ◆応募・問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

## 募 G・Hつくえで職員募集

グループホームつくえでは、次のとおり職員を募集しています。

- ◆職種・人数…介護職・若干
- ◆賃金…時給800円～(6カ月経過後、勤務状況により正職員月給制130,000円～)
- ◆休日…週休2日制(勤務表による)
- ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
- ◆各種手当…通勤、賞与年2回時間外、夜勤、休日
- ◆応募方法…詳しくは電話で問い合わせてください。面接は随時対応します
- ◆応募・問い合わせ先…中城興産(株)グループホームつくえ(☎33-3500 担当：中山、山根)

## 知 仕事や生活の相談会開催

くらしネットみやこ相談室では「出張相談会」を開催します。どなたでも無料で相談できますので、直接来場ください。

- ◆日時…平成28年1月19日(火)午前10時～午後3時
- ◆場所…アズビィ学習センター会議室
- ◆相談内容…仕事に就くこと、生活することに不安があるなどの相談に応じます
- ◆問い合わせ先…くらしネットみやこ相談室(☎0193-65-7046)

## 知 暖房器具の火災に注意

今の時期は、暖房を使う機会が多く、空気も乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続きます。火の取扱いに注意しましょう。暖房器具の周りに洗濯物や燃えやすいものを近づけないようにしましょう。

火災・救急・救助は「119番」。携帯電話、スマートフォン、IP・光回線からの「119番」通報は、宮古消防署へ通報されます。

一般電話からの「119番」通報は、田野畑分署へ通報になります。

- ◆問い合わせ先…宮古消防署田野畑分署(☎34-2100)

## 知 村道長嶺線全面通行止め

1月5日から2月26日まで、村道長嶺線の道路改良工事に伴い、池名地区から小松山区間の延長2.7kmを通行止めとします。ご協力をお願いします。

- ◆問い合わせ先…建設第一課(☎34-2113)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（1月21日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で1名様に「たのはたココロのうた」のCDをプレゼントします。

- Q1 「たのはたココロのうた」のCDはどこで売っている？  
 A) 役場政策推進課  
 B) アズビィホール  
 C) アマゾン
- Q2 羅賀地区の土地利用高度化再編整備のかさ上げ高は？  
 A) 20.4m  
 B) 21.4m  
 C) 22.4m



おめでた おくやみ

[平成27年11月届け出分]  
(一部敬称略)

♥未永く ～結婚～  
 中机 隆憲 机  
 渡邊 悦子 西和野 ♥ 机  
 斎藤 大漁 島 越 ♥ 島 越  
 道下 愛 普代村

■安らかに ～お悔やみ～  
 熊谷 順一 (65) 甲 地  
 小長根 榮一 (87) 机  
 佐々木 ミツノ (91) 島 越  
 佐藤 正雄 (95) 田野畑  
 伏山 サノ (83) 甲 地

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(12月17日現在)

寄付金総額	4130万2760円 676件 (村内123件、県内161件、県外392件)
取り崩し額	615万7000円
基金残額 (運用益を含む)	3519万6775円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課 ☎34-2111内線15) までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：1月1日(金)～2月1日(月)

月 日	行 事	場 所	時 間	問 い 合 せ 先
1月1日(金)～3日(日)	北山崎断崖クルーズ観光船初日の出号	観光船発着所(島越)	1日 1便 6:30～ 2便 10:00～ 2日、3日 1便 10:00～	ホテル羅賀荘 (☎33-2611)
10日(日)	村消防団消防出初式	田野畑中学校ほか	9:45～11:20	総務課 (内線16)
18日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(25日も開催)	20:00～21:00	教育委員会 (内線22)
19日(火)	アズビィ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビィ体育館(26日も開催)	17:00～19:00	教育委員会 (内線22)
20日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バトミントン教室」	アズビィ体育館(27日も開催)	20:00～21:00	教育委員会 (内線22)
20日(水)	乳児健診	健診センター	12:30～15:30	保健福祉課 (☎33-3102内線55)
22日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビィ体育館(29日も開催)	19:00～21:00	教育委員会 (内線22)
24日(日)	田野畑村教育のつどい	アズビィホール	8:45～12:00	教育委員会 (内線12)
2月1日(月)	村県民税4期 国民健康保険税8期 納期限			税務会計課 (内線34)
	後期高齢者医療保険料7期 介護保険料8期 納期限			生活環境課 (内線21)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

明戸でイルミネーション点灯

12月13日、明戸の元気応援団(根木地正富<sup>まさとみ</sup> 団長)による「明戸ドリームイルミネーション2015」の点灯が行われ、田畑に囲まれた暗闇にきれいなイルミネーションが輝きました。今年まとめた「明戸地域づくり計画」においてイルミネーションを計画。明戸公民館そばの空き地に半日かけて高さ約4メートルの傘状のイルミネーションを製作しました。作業に携わった島山義男<sup>よしお</sup>さん(46)は「三鉄からも見えるので、多くの人に楽しんでもらいたい」と語りました。



三陸鉄道の車窓からもイルミネーションが楽しめます



弥五兵衛太鼓は練習の成果を発揮し、息のあった演奏を披露しました

小学生が伝統芸能などを発表

第1回田野畑小学校文化芸能発表会が11月29日、小学校体育館で開催され、会場には保護者や地域住民が多数訪れました。旧6学区ごとに、田野畑は菅窪鹿踊、羅賀は大宮神楽、沼袋は甲地剣舞、浜岩泉は弥五兵衛太鼓、島越はヨサコイソーラン、机は森林愛護少年団活動の発表を行いました。浜岩泉地区の弥五兵衛太鼓は力強いばちさばきで演奏を披露。和太鼓の迫力ある振動が会場を揺さぶり、観客から大きな拍手が送られました。

大崎建設から本のプレゼント

大崎建設(株)では、田野畑小学校の児童全員に図書「心に響く小さな5つの物語」を贈りました。贈呈した島山陸<sup>りゅうや</sup>代表取締役は「多感な子どもたちにはいい話を読ませたいと思い贈りました。家族で読んでいただきたいです」と話しました。

本を読んだ山根恵太くん(4年)は「イチロー選手の小学校時代の作文が紹介された話を読んで感動し、自分もスポ少を頑張ろうと思いました。大切にして何度も読みたいです」と大満足の様子でした。



左から山根恵太くん、砂森美咲輝ちゃん、佐々木美緒ちゃん

今シーズンのアワビの口開けは11月に1回、12月に3回の計4回(12月21日時点)。収量は昨年並み、価格は昨年より若干良いとのことでした。

口開けの日の午後に行われた殻外し作業

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(羅賀・机・北山方面)

月 日	場 所	時 間
1月19日(火)	拓洋台団地	9:05～9:20
	グループホームつくえ付近	9:50～10:05
	北山地区総合センター	10:15～10:30

◆たんぼぼコース(田野畑・切牛方面)

月 日	場 所	時 間
1月19日(火)	黎明台団地集会所付近	11:30～11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方)

月 日	場 所	時 間
1月20日(水)	産直プラザ尾肝要	9:15～9:30
	山栄会リアス倶楽部付近	9:40～10:00
	甲地公民館	10:10～10:20

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

わが家の  
アイドル



吉塚 康希<sup>こうき</sup>くん (2歳0カ月)  
公太郎さん・小織さん=甲地=

お母さんからのひとこと

家で飼育している牛や馬が大好きで  
お父さんと一緒に給餌のお手伝いを頑  
張っています。また甲地鹿踊に興味を  
持ち週1回の練習を楽しみにしていま  
す(笑)。自然の中で、元気よく遊び、  
丈夫に育ってほしいです。



菊地 リアナちゃん (2歳1カ月)  
太さん・美穂さん=明戸=

お母さんからのひとこと

みんなとすぐに友達になれる、人見  
知りをしない女の子です。

おじいちゃん、おばあちゃんが大好  
きで、一緒に農業のお手伝いに汗を流  
しています(笑)

妹と仲良く、元気に育ってね!



村長石原弘の  
村長コラム

13

○復興ごども議会！ 純粹な提言・意見に住民自治  
の原点を感じた！時代が変わり始めている！  
人が地域をつくり、仲間をつくるという原点はど  
こにあるのでしょうか？

11月の子ども議会で、小学校の児童と中学校の生  
徒諸氏が、友達の話し合いや個人の意見のまとめを  
行い議会活動を行った姿は、議場を越えて田野畑村  
全体に新しい風を吹かせてくれたと感じました。

小学生と中学生が学校の垣根を越えて討論が出来  
ていることは、素晴らしいことだと思います。その  
場で意見を言えるということは、常に主体性がある  
ことの証であり、人の意見を聞く力があるから、純  
粋に物事を捉える素質、真っ直ぐな心があるからだ  
と感じました。

私自身も、この議会はイベントではなく、子供た  
ちの真摯な意見を村政に活かす事、提言された事柄  
は、担当部署で実現に向けて取り組むことを指示し  
ています。

子供たちは村の宝、この子たちに田野畑村出身者  
だという誇りを持っていただくためにも、中学生の  
仮会社社という活動は、田野畑村地域づくり会社と  
してその意義を感じたところであり、次の政策に活  
かしていきたいと考えています。

子供たちも地域の大事な村民、彼らも彼女らも、  
老若関係なく、地域に活きる姿を想像したら、ワクワク  
しませんか。

小さくても漂乎とした村、生まれた子から人生経  
験豊富な方々がつながっている村、一人一人が美し  
く笑み・花笑む、豊かな村を皆さんで築いていきま  
しょう。花が微笑み・子供たちが微笑む・美しい村  
民の笑顔が溢れる村を子供たちは創造しています。